

六

二七五

化競丑滿鐘



下

本儀

四



ひのあみ

むけくぐり

まのりね

化競旦満鐘

下

かまおとこ

山男麓屋の

とん

化龍魚満鐘

右くらみと峠

左まよひの道



下の巻

富旅薙屋の辰

此の巻は、
化物の族と云ふものも、
世に福の杖すけり、
なる楊舟柳のなるも、
妖怪を合の巻

化龍年七

此の巻は、
化物の族と云ふものも、
世に福の杖すけり、
なる楊舟柳のなるも、
妖怪を合の巻

[illegible][illegible]

中世のころより平人化をすすめるの因果なるを
 のりつらとせしむるが故に其の金銀貨幣は後世と
 くらべて少くとも半に減るなりと云ふは其の
 故に其の金銀貨幣は後世とくらべて少くとも
 半に減るなりと云ふは其の故に其の金銀貨幣
 は後世とくらべて少くとも半に減るなりと云
 ふは其の故に其の金銀貨幣は後世とくらべ
 て少くとも半に減るなりと云ふは其の故に

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

仙々々々

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

寛政十二庚申正月吉日
作者曲亭馬琴

張之平納

作者曲亭馬琴

懷

卷之七